

教科名 (科目名)	専門教科 (英語) ディベート・ディスカッションⅡ	履修学年	3 年	学科	フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2 単位	

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、
 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。
 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。
 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使用する場面に応じた適切な表現の形・意味・用法を理解している。 [知識] 学んだ知識を用いて、表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。 [技能] 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の知識や場面・状況を理解し [思考力・判断力]、言語用の目的に応じて適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している [表現力]。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の活動を振り返り、適切な表現を用いて、言語使用の目的に応じて、自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく表現しようとしている。
評価方法	小テスト・単元テスト・定期考査	単元テスト・パフォーマンステスト・定期考査	課題・パフォーマンステスト

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】 be Clear Logic and Expression III
 【副教材】 問題集・単語帳・参考書等
 【その他】 授業プリント

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○ 授業は英語で行います。授業中の発言ややり取りも、重要なコミュニケーション活動として位置づけます。
 ○ 教科書で学ぶ基礎的な内容を土台にしながら、身近な話題や日常的・社会的なテーマについて、自ら考え、判断し、表現する機会を設けます。その思考の深まりや表現の工夫、取り組む姿勢を総合的に評価します。
 ○ ペアワークやグループ活動を通して、主体的に学ぼうとする態度や協働する姿勢についても評価の対象とします。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	Lesson 1 A City Worth Visiting Lesson 2 Our Hometown Lesson 3 What Makes Our City Attractive?	小テスト 単元テスト 定期考査	単元テスト パフォーマンステスト 定期考査	課題 パフォーマンス テスト
	5月				
	6月				
	7月				
2 学 期	8月	Lesson 4 How Do You Spend Your Time? Lesson 5 Trying Something New Lesson 6 The Art of Translation	小テスト 単元テスト 定期考査	単元テスト パフォーマンステスト 定期考査	課題 パフォーマンス テスト
	9月				
	10月				
	11月				
	12月	共通テスト対策課題や大学入試へ向けての記述問題演習			
3 学 期	1月	個別大学二次試験対策 和文英訳・英作文演習	小テスト 単元テスト 定期考査	単元テスト パフォーマンステスト 定期考査	課題 パフォーマンス テスト
	2月				
	3月				